自尊と敬虔

和木中学校だより　第２５６４号

令和８年９月１日（火）

〒740-0061　和木町和木２丁目５番２号
TEL 52-4328　FAX 52-5265
和木中 Web ページ https://www.sky.icn-tv.ne.jp/~waki-jhs/

家族労作では保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。お陰様で、懸案であった除草作業も大変はかどり、気持ちよく２学期を迎えることができます。ありがとうございました。

その２学期は大きな行事もあり、その中で生徒の成長を見届けていただければと思います。２学期もどうぞ、よろしくお願いします。

８月号に引き続き、１学期（後半）の地域の皆様にお世話になった活動をご紹介します。



認知症サポーター養成講座



職場体験（２２事業所）



熟議（学校運営協議会）



読み聞かせ（ゆびとまの会）



浴衣の着付け



ちぎり絵教室

何のために「生きていく」のか？

◇１年生「学ぶ」とは？

～教室での学びと野外活動（グリーンスクール）での学びの共通点～

〇教室での学びと野外活動（グリーンスクール）での学びはまず教室は友達と一緒に勉強するところで、野外活動は誰とでも班を組んだりして一緒に活動すること。

〇教室では授業の前に着席をするときにみんなで声をかけ合ったりして、協力しないといけないし、グリーンスクールでも「ＡＦＰＹ」のクラスで話し合うときに、クラス全員で一人がいないように声をかけ合ったり、協力するところが共通点だと思いました。あと教室でもグリーンスクールでもみんなが仲良くしないと集団になれないからそこも共通点だと思いました。

〇社会を生き抜くための能力（生きる力）がいること。集団行動における責任感、コミュニケーション能力、チームワークを養う場となること。与えられた指示に従うだけでなく、自ら思考し判断し表現（行動）すること。失敗や困難を成長のステップとしてとらえ、自己効力感をたかめること。

〇一人一人が学ぶのではなく、全員で失敗を重ね続けて学ぶことができる。自分の行動を見て学ぶことができるけど、友達のをみて学ぶこともできる。

◇２年生「働く」とは？

～民泊体験でお世話になった、受入家庭や役場職員の方々の姿から～

〇「働く」とは、この先「生きていく」ためであり、何よりも「人生を楽しくする」ためでもあるとわかった。

〇自分の生活を支えるためのもの。社会でのマナーやルールを学ぶためのもの。自分の好きなことをするためのもの。誰かのためになるもの。自分のできること。やりたいことをみつけられるもの。自分の長所や短所を見つめ直すことができるもの。誰かを支えるためのもの。何かを経験する、経験を生かすためのもの。

〇「働く」とは、大変なことだと思ったり楽しいなと思ったりしました。これを毎日やっているんだなと思って大変だなと思いました。

◇３年生「働く」とは？

～修学旅行でお世話になった、旅行会社や宿泊・見学施設等で働いている方々の姿から～

〇働くとは決められた事をするのではなく、他の人が楽しめるようにサポートしてくれることだと分かった。やりがいや、この仕事をしていてよかったなと思えることが「働く」と分かった。

〇働くとは、自分のことを後回しにして他の人のことを考えている人のことだと思う。修学旅行を通していろんな働いている人を見てきて宿泊先のスタッフさんは僕たちの質問を表情を変えずに答えてくれたし、ＵＳＪではキャストさんはずっと笑顔で答えてくれた。働いている人は自分のことを後回しにしてお客さんのことを考えている。

〇バスの運転手さんやＵＳＪの店員さんなどを見て私は働くとは、自分の責務を全うするということなんだと思いました。けれど、バスの運転手さんは私たちが忘れた折りたたみがさを出すのを手伝ってくれたし、ＵＳＪの店員さんは私たちが楽しめるように笑顔で明るく接客してくれました。将来は修学旅行でお世話になった人たちのように、責任と人に対する思いやりをもって働きたいと思いました。

〇誰かのためにも、自分のためにもなるもの（お客さんを元気にする、笑顔にする（ＵＳＪのキャストさん）、働いて給料をもらって生きる）。見えないところでも働いている（ホテルのベッドメイキングさん、旅行券などを手配する人）、生きていくうえで欠かせないもの。

〇生きるために大切なこと。修学旅行が楽しく終えたのも旅行会社や宿泊の人が自分たちのために適切なプランを考えてくれたりして、今思うととてもありがたいことをしてくれたんだと思いました。働いてくれるということはとてもありがたいと思いました。

〇私たちの目に見える所で働いている人もいれば、私たちが見えないところで、私たちの想像以上にたくさんの人が動いていて、私たちを支えてくれている事ばかりだと思いました。修学旅行に行った事で、働いている大人や先生の大切さがよく分かりました。

〇人のためになる仕事なのかと思った。自分のためでもあるけど、誰かのために働くということが仕事のやりがいにつながっているのではと思った。そして、旅行会社・宿泊・見学施設などの仕事は、自分たちのためにずっと前から考えてくれてるんだなと思った。働くということは、誰かのために役立つ仕事だと自分は考えます。今回の修学旅行は自分たちのために動いてくれた人たちが一番重要ということを改めて実感しました。